

鎮子用法

〔延喜式内藏〕元正預前裝飾大極殿略○中鎮子鐵一百廿廷納廷別

凡正月七日預前節一日寮官人率史生藏部裝飾舞臺略○中設略○中鎮子鐵廿廷並納

〔延喜式二十一〕堂裝束玄蕃

鎮子料鐵廿挺略○中諸堂悉依此數但大極殿者略○中又加鎮子鐵卅挺

〔内裏式上〕七日會式

前一日所司辨備豐樂殿構舞臺於殿前略○中其日平明左右衛門樹梅柳於舞臺之四角及三面内藏

寮以縹帶結著即置舞臺鎮子

〔西宮記〕一天皇元服略○中

敷設等事南方料略○中鎮子四枚在掃部

〔江家次第正月〕小朝拜事略○中

次御裝束略○註垂母屋御簾麴撤畫御座敷二色綾毯代四角置

〔書言字考節用集七〕希施婁吹煙管煙筒又作煙蓋

〔倭訓栞後編〕六きせる煙管又烟吹をいふは蠻語也といへり京にきせる伊勢にきせりとも云

其初は紙を卷てたばこをもりて吹ける次で葭葦細竹等をそぎて用ふ羅山文集にも佗波古草

名採之乾暴剗其葉而貼于紙捲之吹火吸其烟と見えたり其端盛烟酒者稱雁頸其所啣稱吸口種

が鳥にはえんつうといふ烟筒なるべし烟筒も漢稱也蝦夷島にてはせろんぼといふおらんだ

ぎせるは全體すきやの物也今茵の類に名く土齒也といへり又葦菴蓉也といふ南蠻きせると

もいふ

〔燕石雜志〕物の名

烟管きせるも蠻呼ならん

烟管
名稱